

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】
〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-550-0747 FAX.042-550-0059

Rotary
第2580地区



ロータリーの
マジック

東京秋川ロータリークラブ
2024-25年度 17号

2024年11月14日
第2395回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	43	19	23	1	45.24%

本日のテーマ

ガバナー公式訪問・卓話

次回以降のプログラム

11月21日(木) 通常例会
12月 1日(日) 少年軟式野球大会優勝チームと
当RC野球部と対戦・親睦会

第2394回の出席率訂正 会員43名 出席15名 メークアップ17名 欠席9名 免除2名 訂正出席率 78.05%

会長方針

絆と喜び；仲間と笑顔で奉仕を

本日のお客様

- ・東京福生ロータリークラブ 地区ガバナー 石川 彌八郎 様
- ・東京武蔵村山ロータリークラブ ガバナー補佐 比留間 孝司 様
- ・東京福生ロータリークラブ 地区幹事 木村 敦史 様
- ・東京武蔵村山ロータリークラブ 分区幹事 佐藤 貢 様

クラブ協議会

秋川ロータリークラブの本年度の活動計画について地区へご報告をさせていただきました。



幹事報告 佐藤 慶 幹事

11月の予定

- ・11月16日～19日: セントラルダバオへの訪問(参加者:7名)
- ・11月16日(土): 東京東村山ロータリー第一回「多摩湖サイクリングエボリューション」
- ・11月21日(木): 同日の通常例会で総会開催
- ・11月26日(火): 秋川流域ふれあいクリスマス会第二回実行委員会
 - 開催時間:午後7時から、ふれあいセンター
 - 参加者:会長、幹事、社会奉仕委員長
- ・11月28日(木): 例会取りやめ

12月の予定

- ・12月1日(日): 秋川ロータリークラブ主催
 - 第39回秋川流域少年軟式野球大会の優勝チーム多西ヤングライオンズと親睦試合(小和田ブランド)
 - バーベキュー親睦会(リバーテオ、12:30～)
- ・12月5日(木): ふれあいクリスマス会へ振替の為なし
- ・12月7日(土): 秋川流域ふれあいクリスマス会2024
- ・12月10日(火): 秋川ロータリークラブ同好会第2回コンペと忘年会
- ・12月12日(木): 通常例会
- ・12月13日(金): 第3回多摩郡区連絡会
 - ホスト:東京東村山ロータリークラブ
- ・12月17日(火): 第3回クラブ活性化ワークショップ
- ・12月19日(木): クリスマス例会の振替の為なし
- ・12月21日(土): クリスマス例会開催
- ・12月26日(木): 例会なし

— 卓話 — 地区ガバナー 石川 彌八郎 様

このテーマ「隔たりを取り除こう、取り除きご縁を大切に」についてですが、実は私のおじいさん、16代の石川彌八郎が福生クラブの初代会長を務めた際のテーマが「隔たりを取り除こう」でした。ですので、私はそのままいただきました。ご縁を大切にというテーマは、私がガバナー補佐を務めた際、神山ファストガバナーのテーマ「出会いを大切に」に基づいています。

配布した際、いくつか質問を受けました。「隔たりを取り除くとは何か」「ご縁とはどういうことか」といった質問です。丸パクリしただけでは説明できないので、考え始めました。その結果、このテーマはロータリーの理念にぴったりに合っていることに気付きました。

「隔たりを取り除こう」というテーマは、1968年におじいさんが述べたものですが、その当時は戦前の教育を受けた人々が多く、上下関係が厳しかった時代でした。しかし、ロータリーでは年齢や職業などの隔たりを取り払い、一人の人間としてお付き合いすることが重要だという理念があります。これが「隔たりを取り除こう」というテーマに繋がっていると思います。

次に、隔たりを取り除く方法ですが、肉体的な隔たりはどのようなありません。例えば、飲み過ぎても他人に影響を与えたりはしません。しかし、精神的な隔たりは親睦を深めることで取り除くことができます。親睦があれば、精神的な隔たりが徐々に無くなり、奉仕活動に結びついていきます。ロータリーでは「親睦なくして奉仕なし」という言葉があり、これは非常に重要です。

肉体的な隔たりは取り除けませんが、精神的な隔たりは親睦を深めることで解消できます。初対面の時には精神的、肉体的な隔たりがありますが、親睦を深めることで協力しやすくなり、奉仕活動が円滑に進むようになります。次にご縁についてですが、ご縁は単なる出会いではなく、その後どうなるかが大切です。出会った後に社会のためにどう役立つかが、真のご縁です。例えば、物質が出会っただけでは役に立ちませんが、適切に組み合わせれば役立つようになります。人間関係でも同じです。

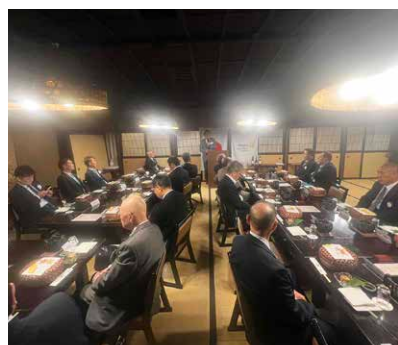
また、意識的にだけでなく、無意識のうちに良い影響が広がることもあります。例えば、澤の手入れをすることで自然が整い、他の生物や人々に良い影響を与えるようになります。これもロータリー活動の一環です。ちょっとした改善が大きな変化を生むことがあります。

ロータリーの活動は、個々の力が集まって大きな奉仕に繋がる「ロータリーのマジック」と言えるでしょう。

私は最初から真面目なロータリアンではありませんでしたが、ある時、ロータリーについて勉強する機会があり、そこでその崇高な理念に触れました。それから少しずつロータリー活動に参加するようになり、今では幹事を務めるようになりました。

ロータリー活動を通じて、職業奉仕について考えるようになりました。仕事をする事自体が社会への奉仕であり、引退後も社会貢献は可能です。引退後に得た経験や知識を社会に還元することも職業奉仕です。

最後に、ロータリーで学んだことを日常に生かすことが大切です。社会のニーズに気づき、自分ができていることを考えるセンスを磨くことが、ロータリーの活動の本質です。



◆編集 週報委員会 担当 新井 悠央